

74th BUSINESS REPORT

第74期中間株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日

名工建設株式会社

MEIKÔ CONSTRUCTION CO.,LTD.



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第74期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の営業の概況につきまして、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な金融・経済政策や円安・株高にも支えられ、企業収益は改善し景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、輸入物価の上昇、消費増税を背景に国内物価の上昇、個人消費の低迷等により、先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましても、受注環境は活性化してまいりましたが、労務費や建設資材価格の上昇や人手不足により、環境変化に柔軟に対応することを求められています。

このような情勢下、当社グループは、安全と品質確保並びに技術力の向上を重点に事業活動を積極的に進めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、**売上高**は34,728百万円（前年同期比892百万円減）となりました。利益におきましては、**営業利益**が353百万円（前年同期比327百万円減）、**経常利益**は479百万円（前年同期比322百万円減）で**四半期純利益**は311百万円（前年同期比200百万円減）となりました。

また通期の見通しについては、下記の通りであります。

受注高	660億円
売上高	850億円
経常利益	28億円
当期純利益	15.5億円

株主の皆様におかれましても、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

野田 豊 範

第2四半期決算の概況

四半期連結貸借対照表の要旨

(平成26年9月30日現在)
(単位 百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	43,467	流動負債	34,484
		固定負債	5,959
固定資産	25,773	負債合計	40,444
		純資産の部	
		科目	金額
有形固定資産	10,204	株主資本	23,900
		その他の包括利益累計額	4,755
無形固定資産	419	少数株主持分	141
投資その他の資産	15,149	純資産合計	28,797
資産合計	69,241	負債純資産合計	69,241

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書の要旨

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)
(単位 百万円)

科目	金額
売上高	34,728
売上原価	32,131
売上総利益	2,597
販売費及び一般管理費	2,243
営業利益	353
営業外収益	161
営業外費用	35
経常利益	479
特別利益	3
特別損失	2
税金等調整前四半期純利益	479
法人税等	172
少数株主損益調整前四半期純利益	307
少数株主損失(△)	△4
四半期純利益	311

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

・貸借対照表

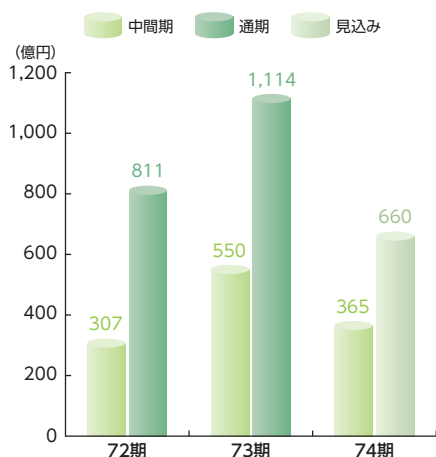
- ・総資産は、JPタワー建設に伴う有形固定資産の増加や、株価上昇による投資有価証券の含み益が大幅に上昇したことなどにより、前年同期比4,281百万円増加の69,241百万円となりました。
- ・負債の部は支払手形・工事未払金等が7,002百万円減少しましたが、借入金、未成工事受入金で増加したこと等により前年同期比3,045百万円増加しました。
- ・純資産合計は利益剰余金で315百万円、その他有価証券評価差額金で1,509百万円増加したこと等により、前年同期比1,868百万円増加の28,797百万円となりました。

・損益計算書

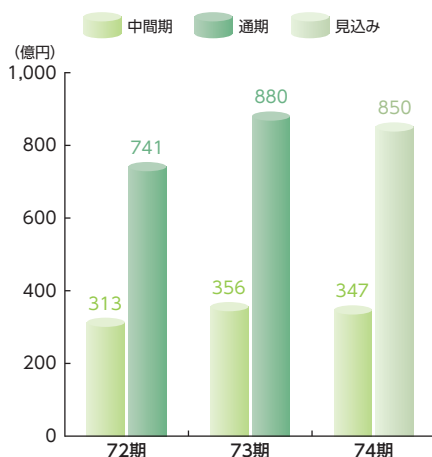
- ・売上高は土木・軌道工事で29億円と順調に増加したものの選別受注により建築工事が35億円減少し、また兼業事業売上高も339百万円減少したこと等により、前年同期比892百万円減少の34,728百万円となりました。
- ・利益面では金融収支の改善もありましたが、当中間期は販売用不動産の売却益がなかったこともあり営業利益が減少し、経常利益は前年同期比322百万円減少の479百万円となりました。

財務ハイライト

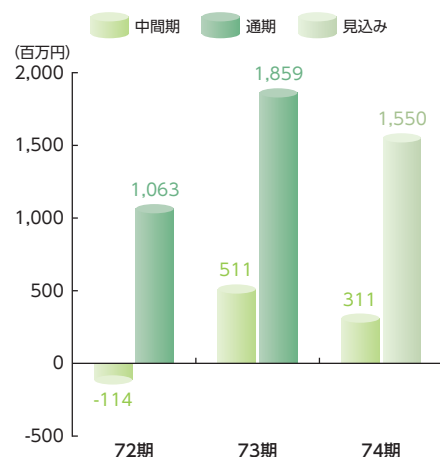
●受注高



●売上高



●当期純利益



TOPICS

台風8号による中央本線南木曽地区災害復旧工事

平成26年7月9日の台風8号による豪雨で、中央線南木曽・十二兼間梨子沢橋梁付近に土石流が押し寄せ、上下線2本の橋桁が流出するなどの被害が発生しました。

翌日の7月10日には現地確認、復旧作業に取り掛かり、約1ヶ月後の8月6日には運転を再開し、鉄道利用が増加するお盆に工事を完了させることができました。



土石流発生後の様子



復旧工事完了

主な今期の施工物件

● 土木



公共下水道第65工区 満田川ポンプ場整備工事（その1）
（大阪府枚方市）

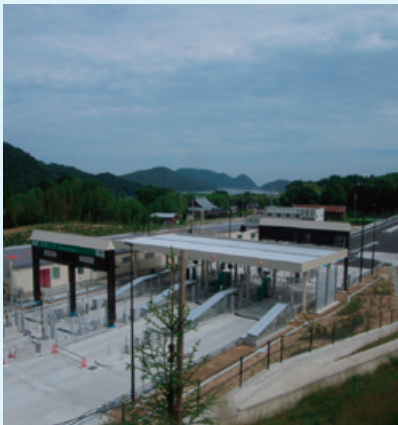


飯田線有海Bo新設
（愛知県新城市）



庄川橋梁下部（その4）工事
（富山県南砺市）

● 建築



舞鶴若狭自動車道 上中IC他1IC管理施設新築工事
（福井県小浜市）



（仮称）ブランド芦屋川新築工事
（兵庫県神戸市）



三島駅南口JSK新ビル建設工事
（静岡県三島市）

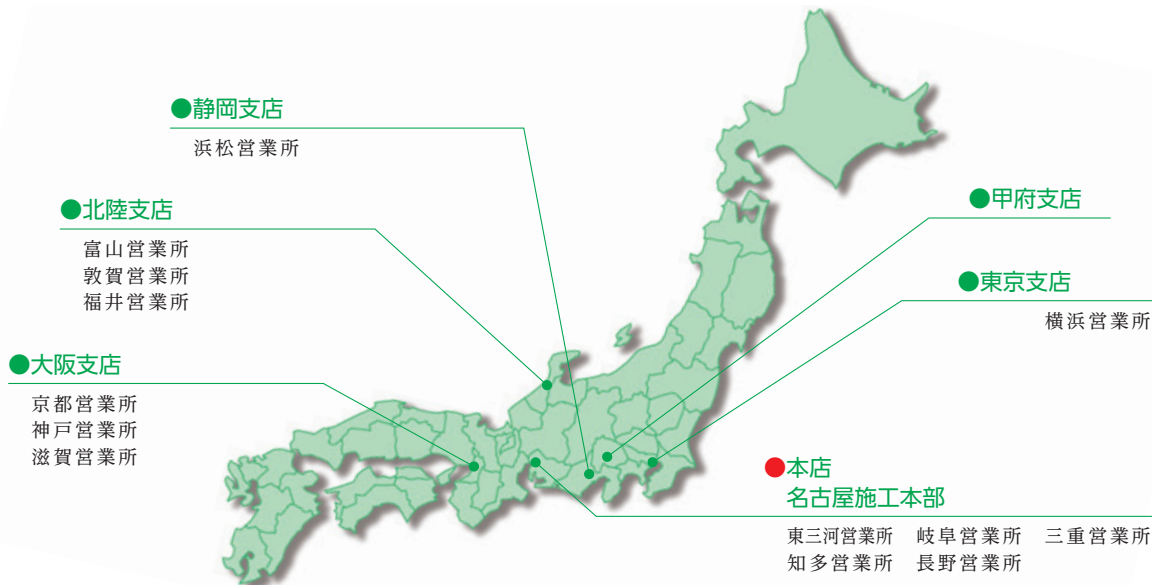
取締役及び監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役社長	野田 豊範
取締役	加藤 雄三
取締役	甲坂 友昭
取締役	佐藤 武男
取締役	中村 清貴
取締役	岡田 裕輝
取締役	里川 幸夫
取締役	速水 政彦
常勤監査役	山下 啓二
常勤監査役	永田 修嗣
監査役	福本 豊
監査役	山田 雅雄

会社概要

- 商号
名工建設株式会社
- 英文商号
MEIKÔ CONSTRUCTION CO.,LTD.
- 設立
昭和16年6月28日
- 資本金
15億9,450万円
- 発行済株式数
27,060千株
- 従業員数(連結)
1,353名(平成26年9月30日現在)
- 本店所在地
名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ34階

営業所一覧



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
(電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告の方法

電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
電子公告掲載URL
<http://www.meikokensetsu.co.jp/koukoku/index.html>

お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

